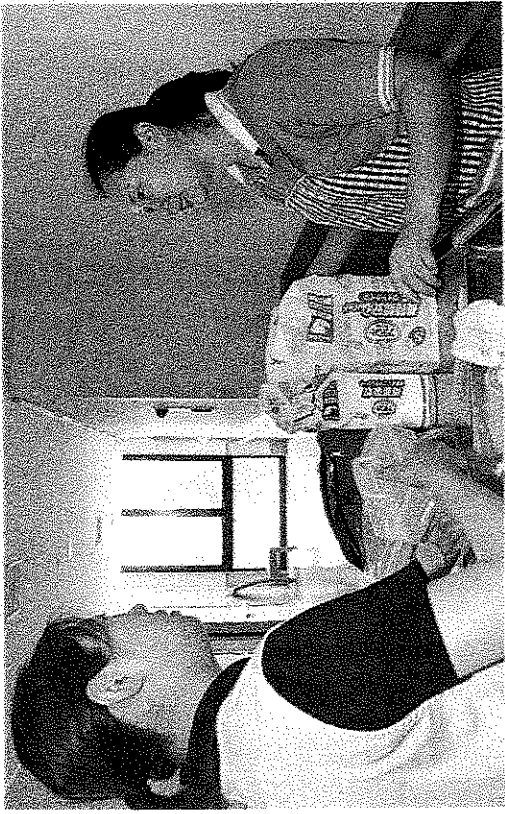


新報

おむつ交換 教材動画制作 入所者座席表に振り仮名



外国人実習支えは回僚

外国人技能実習制度の対象職種に初対人サービスとなる「介護」が加わって2年が過ぎた。厚生労働省などによると、日本への入国に必要な実習計画の認定を受けたのは9月末時点で2778人。九州では、人材不足が慢性化する介護現場で180人以上の実習生が働いているとされる。8月にベトナムから実習生3人を迎えた福岡県大川市の社会福祉法人「蓮華水寿会」（山崎幸理事長）の介護老人保健施設で働くタオさん(22)と支える職員の一日に密着した。【2面に関連記事】



おむつ交換に向かうタオさん(右)。中島係長からアタバイさんを受け取る①食事介助もアタバイさん。中島係長からも10月12日、福岡県大川市

ベトナム人勤務 大川の介護施設

医療系短大卒のタオさんは、法人提供の民家で、別の施設に配属されたシエさん(24)、フオンさん(21)と暮らす。受け入れ担当の山崎建業係長(7)は「地域の住人になるので、入居時は3人を連れて近隣に挨拶しました」。タオさんは週5日計40時間の勤務。手作り弁当を持って、自転車で施設へ通う。

【午前9時前】「体操します。タオさんと一緒に、車いすの利用者も体を動かす。担当する際には60〜100歳の52人が入居。食事の形態や薬がそれぞれ違い、顔と名前把握は重要な仕事だ。タオさんをご指導する中島孝子係長(38)は「ひらがなを振った食事時の座席表を作る工夫をしました」。タオさんは「3日で覚えた」という。

ベトナム人勤務 大川の介護施設

【午前9時前】「体操します。タオさんと一緒に、車いすの利用者も体を動かす。担当する際には60〜100歳の52人が入居。食事の形態や薬がそれぞれ違い、顔と名前把握は重要な仕事だ。タオさんをご指導する中島孝子係長(38)は「ひらがなを振った食事時の座席表を作る工夫をしました」。タオさんは「3日で覚えた」という。

2019年

11月5日

(火曜日)

西日本新聞

1300年前の本音を読み取る 筑紫万葉恋ひとごころ

在宅ビジネスに最適
 ◎一歩先の個人経営
 ◎電話経営代行
 ◎PC・スマホ・タブレットの無料利用
 ◎責任保証
 ◎安心保証
 ◎24時間常駐
 ◎24時間常駐
 ◎24時間常駐
 ◎24時間常駐
 ◎24時間常駐

あす	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あす	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

日韓首脳 1年ぶり対話

「外交協議で懸案解決」確認

【バンコク川合秀紀、ソウル池田郷】安倍晋三首相は4日、訪問先のバンコク郊外で、韓国の文在寅大統領と約10分間、会話を交わした。元徴用工問題や輸出規制強化を巡って対立が続く両国関係について、両首脳は対話を通じて解決するとの原則を確認。首相は日韓請求権協定に基づき日本側の原則的立場に変更はないとの考えを伝え、韓国側の対応を改めて求めた。【2面に関連記事】

両首脳が着席した形で対話したのは昨年9月の米ニューヨーク以来。4日午前、東アジア諸国連合(ASEAN)プラス3(日中韓)の首脳会議前の控室で通訳だけを交え、1対1で行われた。事前には予定されたのではなく、文氏が呼び掛けたという。

韓国大統領府によると、両首脳は「非常に友好的で真摯な雰囲気の中で敏談した。文氏は外交官間の協議の進展に期待するとともに「必要に応じてより高いレベルの協議」を行うこ

とを提案。首相も「あらゆる方法を通じて解決策を模索することを努力する」と応じたという。

日本側の説明では、首相は外交官間の協議を通じて懸案を解決する考えを述べる一方で、「二国間の問題に関する日本の原則的な立場」を伝えたとしており、元徴用工問題は日韓請求権協定により解決済みとする従来の見解を示したとみられる。今後の首脳会談についての発言はなかったという。

【午後1時】夕食介助を終え、昼休み。母国では約1時間間を習慣があるという「15分寝ます。元気になる」。中島さんは「利用者」に受け入れられるかという不安は取り越し苦労でした。明るくタオさんに「利用者は「速くから偉かね」

【午後1時】夕食介助を終え、昼休み。母国では約1時間間を習慣があるという「15分寝ます。元気になる」。中島さんは「利用者」に受け入れられるかという不安は取り越し苦労でした。明るくタオさんに「利用者は「速くから偉かね」

【午後1時】夕食介助を終え、昼休み。母国では約1時間間を習慣があるという「15分寝ます。元気になる」。中島さんは「利用者」に受け入れられるかという不安は取り越し苦労でした。明るくタオさんに「利用者は「速くから偉かね」

【午後1時】夕食介助を終え、昼休み。母国では約1時間間を習慣があるという「15分寝ます。元気になる」。中島さんは「利用者」に受け入れられるかという不安は取り越し苦労でした。明るくタオさんに「利用者は「速くから偉かね」

【午前9時前】「体操します。」

【午後1時】夕食介助を終え、昼休み。

【午後4時】午後の業務が一段落すると、実習日誌に、この日学んだことなどを記入。「今日、私は、りょうしやさんにナシミン(下剤)をいれてあげました。」中島さんが添削し、業務内容を一緒に復習する。タオさんのSOSをキャッチする時間でもある。以前「腰が痛い」と訴えたタオさんの腰痛予防の体操メニューを考案した。

【午後6時】終業し帰宅。カボチャの炒め物などの夕食後は、漢字の勉強。日本人の新人と同額の給料をもらってタオさんは「2万円は私、あとはベトナムで大工をする両親に送ります。毎日楽しい」と笑った。法人は継続的に実習生を受け入れる計画で、山崎総所長は「実習生を回僚として迎え、日本人と同じ教育をし、細かな配慮ができる人材に育てたい。過こしやすい環境をつくり、実習生に『選ばれる施設』を目指します」と話した。(吉田真紀)